

# 米国オレゴン州旅行(1998)

## —その18:ポートランド周辺(1)—

オレゴン旅行(18) - ポートランド周辺(その1)

今迄に Eugene 2泊、Crater Lake 2泊、Bend 3泊、Welches 3泊の計10泊した。今回の旅行もポートランドの5泊のみとなった。

7/18(土)



まず朝カーテンを開けると遠方にフッド山が見えた(左の写真)。朝は光の関係でシルエットになり、クリアーではなかった。部屋からは夕方のフッド山が非常に鮮明で、日没までの変化が印象的であった。インターネットのライブカメラがフッド山を24時間撮影しており、東京の朝8時頃が現地の午後3時で、一番クリアーに見える時です。インターネットアドレスは次の通りです。

<http://www.fsvisimages.com/moho2/moho2.html>

真下には Tom McCall Waterfront Park が Willamette River 沿いにあり朝7時頃になると100羽以上の鳥(かも?)が一斉に公園の芝生の上に上がってきて何かを食べているようであった。30分位すると今度は一斉に川へ戻りる。毎日、同じパターンであった。公園の右(川の上流)には River Place Hotel という格調の高い小さなホテル(下の写真)があり 続いて Harbor Side レストラン街が続いていた。夕刻には沢山の人々で賑わう。公園とレストラン街との境界にはこれより先はアルコール飲料禁止と立て札がしてあり、公園内でアルコールは飲めない。Willamette River の対岸にはワシントンパークから引越してきた新しい O M S I (Oregon Musium of Science and



Industry)があったが、行かなかった。ポートランドではマリオットホテルに5泊する予定なので、まず、Gray Line の観光バスのパンフレット を中心に、ポートランド市内ツアーのほか、近郊ツアーで見所を調べた。 Gray Line などの業者には申し訳ないが、他人の禰で相撲をとる。ツアーは次の通り沢山あった。

**Portland City Tour, Portland Attractions, Jet Boats on the Willamette, Multnomah Falls and Columbia Gorge, Northern Oregon Coast, Mt. Hood and Columbia Gorge, Columbia Gorge Bus and Boat, Deluxe City Tour, Volcano Country**

日本語ツアーでは上記のほか拳銃射撃ツアー、テレビドラマを体験出来るオレゴンから愛ロケツアーなどがあった。日本語ツアーの料金は同じコースの場合、約2倍であった。結論として、まだ、行っていないのは海岸線とコロンビア渓谷と市内観光であった。 海岸線は魅力があったが、時間の関係で割愛。コロンビア渓谷と市内観光（買い物、散歩などを含む）をすることにした。

ここで Sales Tax について一言。オレゴン州は Sales Tax（日本での消費税）がないというのは計算が楽ばかりか、得をした様な感じも受けた。日本では、最近（2004年4月）突然内税になったが将来の増税含みであると言うのがもっぱらの噂である。コロンビア川の北はワシントン州でセールスタックスが6%であるからワシントン州の人の中には、オレゴン州まで買い物に来る人がいるのではないかと思う。



今日は、市内を散歩する事とした。市街地の輪郭を説明すると周囲に 高速道路が通っており、北西南側（上の地図では左右と上）にルート405、東側（上の地図では下）に Willamette River に沿って ルート5が走っている。Willamette River の内側から南北のアベニューがフロントアベニュー、1st、2nd～13th と続く。東西はストリートで Cray、Main、Yamhill、Morrison などの名前が付いている。Marriott は Front と 1st、Cray と Columbia に 囲まれたところにある。Pioneer Courthouse Square が市街地の中心で、6th と

Broadway , Yamhill と Morrison に囲まれた所にある。Pioneer Courthouse Square は以前、駐車場だったが、70年代に約6万4千人の市民が広場に敷くブロックを言う形で建設費を集め、市民の憩いの場として生まれ変わった。観光案内所、バスや電車の切符売場、トーマスクック旅行代理店、両替所、などがあり、人々で賑わっていた。5th と 6th はバス専用で、一般車は入れない。Yamhill (東行き) と Morrison (西行き) には Max(Metropolitan Area Express) Light Rail という路面電車が通っている。ポートランド市と周辺の市は共同でエコシティー宣言をしており、日本の環境白書にも引用されているが、公共交通(バスと電車)を充実させ、市街区は無料として出来るだけ一般車の乗り入れを抑制する努力がされている。

市内で主に訪れたところを触れることにする。

#### (1) 百貨店 (Meier & Frank)

百貨店としてはノードストロム (Nordstrom) が有名であるが、ベッドカバーやシーツを買う予定だったので経済的な商品を揃えていると言うので Meier & Frank に行った。

#### (2) ドラッグストア (Central Drug)

アメリカの典型的なドラッグストア、雑貨と薬そして奥の方に処方コーナーがあった。ニュートロジーナのリップクリームを購入。

#### (3) ナイキタウン (Nike Town)

日本でも有名なナイキ。本社がポートランドにあることは知らない人が多いと思う。ナイキの本社は Beavertn 市にあり、6th と Salmon の角にあるこの店は直営店、入り口にスポーツマン風のガードマンが立っていて客を選別しているようであった。日本人の客が多く、日本人はフリーパス、店内はナイキの歴史や製品の機能を紹介する展示物があり、ちょっとしたミュージアムのような感じであった。男性用と女性用が別フロアーになっていた。売り子も若くスポーツウエアを着て きびきびしていた。20歳くらい若返った気持ちになり、最新のエアースューズを買ってしまった(実は今(2004)でも愛用している)。陳列棚から好みのタイプを選びサイズ情報をコンピューターにインプットすると、サイズのあった靴がコンベアーで数分以内に運ばれて来るシステムになっていた。

#### (4) 昼食

ナイキタウンからホテルへ歩く途中、Day Inn Hotel のコーヒーショップで昼食。高い割には質、量とも不満であった。

一度、ホテルに帰り、車で外出。

#### (5) 旧市街 (Old Town)

ナイトライフの地区のようであるが様子が分からないので行かなかった。

#### (6) 中華街 (Chinatown)

ホテルの人の話では、サンフランシスコの中華街より規模は小さいが入り口の門が大きいので、見る価値があるとの事だったので、車で行って見たが確かに門はあるが、言うほどの事はなかった。ガソリンを補給して Beaverton へガソリンの価格について今まで説明し

てなかったと思うので、ここで一言、ガロン(3.7853リットル)当たり1.25ドル(当時の¥/\$で¥184)すなわち、¥49-39/Lと言う事になる。日本の半値ぐらいでしようか。燃費は28マイル/ガロン位すなわち11.8km/L位だったと思う。車はシボレーのモンテカルロとか言う中型、白、2ドアでした。

#### (7) 宇和島屋プラザ (Uwajimaya Plaza) - Beaverton

宇和島屋はワシントン州のシアトルとベルビューにある東洋食料品店であるが1998年の4月にポートランドにも進出した。駐車場の真新しいアスファルト舗装が印象的。英語ではAsian Food & Gift marketとなっておりアジア系食品は何でもありと言うお店である。現地のお土産品も売っており、空港の売店の半値位である。シアトルのお店は市街地南部の東洋人街にあり、駐車場は30台位で一番小さい。ベルビュー(シアトルの東にある高級住宅地)のお店は東の外れにあり、駐車場は100台位で2番目、今度のビバートン(ポートランド市の西の郊外の高級住宅地)のお店が一番新しいだけあって駐車場は200台位で、実に大きな店であった。中に紀伊国屋書店が入っていた。週刊新潮が8.75ドルであった。すしのパックもあり、17:30から1ドル引きと書いてあったので、それまで待って2人前買って持ち帰り、ホテルで食べることにした。初め宇和島屋がポートランドにあることを全く知らなかったが現地の観光パンフレットに紀伊国屋書店の広告が出ていて、場所が宇和島屋プラザとなっていたので知ったわけである。しかし、Beavertonがどこでそのどこにあるか判らず、ホテルのConcierge Deskに尋ねると良く聞かれるメモ帳にも見当たらず、電話帳にも出ていないのでConcierge Deskの男性も困ってしまった様子であったが、そこは流石、サービスマン。メモ帳にある有名な日本料理屋へ電話して聞いてくれた。The Thomas Guideと言う詳細地図をコピーして詳しく場所を説明してくれた。Concierge Deskの男性も知らない、電話帳にもないのはGrand Openingしたばかりだったからだと思う。行き方はルート26を西へルート217を南へルート10を東へ行くとすぐ右側にある。



電話帳を見ていたら"I love Sushi"と言う店がBeavertonにあることが判ったので行ってみたが17:00開店と書いてあるにも係わらず、開店しておらず、店員が出てきて冷蔵庫の修理が必要で開店は18:00頃になると言うので、生ものを扱う店で冷蔵庫が壊れては心配なので見送る事にした。経営者も日本人でない東洋人の様であった。"I love Sushi"はシアトルやベルビューにもあって美味しい店であるが、この経営は別人らしい。